



発行所
 関西配管工事業協同組合
 〒531-0071
 大阪市北区中津1-2-19
 新清風ビル7階
 TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者
 事業部・教育情報部
 HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>
 E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

関西配管工事業協同組合機関誌

も く じ



- 第17回通常総会開催 2
- 平成25年度事業計画 3
- 組合役員構成 3
- 組合組織図 4
- 言葉の履歴書(八朔) 4
- 認定職業訓練講座開催 5
- 3団体懇談会開く 6
- 関連4団体協議会開催 7
- ニュースファイル 8
- 大阪管材展に出展 9
- 理事会議事要旨 9
- 日管連 第8回通常総会開催 10
- 国交省の保険未加入対策 11

研修・講習事業に一層注力

生き残りかけ後継者育成

組合の第17回通常総会は5月22日に組合事務局近くの三栄ビル会議室で開催し、各種研修・講習事業を一段と拡充し技能の向上に努めていくことを再確認するとともに、任期満了に伴う役員改選で斉藤昭一理事長を再任しました。

総会は庄司真之副理事長の司会で進行され、加藤猛理事を議長に選出して議事に入りました。平成24年度事業報告・会計報告を行ったあと、25年度の事業計画・予算を決めました。事業計画案は、総務部と青年部事業について庄司真之副理事長が活動案を説明、事業部事業については山田誠香副理事長が活動案を説明、教育情報部事業については玉川義光副理事長が活動案を説明し、それぞれ原案通り承認可決されました。

今年度も引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会と連携して業界の社会的地位の向上を図る



加藤理事を議長に議案審議



ことを確認し、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向けた各種研修・講習に力を注ぐこととしました。

また、ダクト工事業、保温保冷工事業と共通する課題が数多くあることから、「関連3団体懇談会」で意見・情報を交換していくことを確認。さらに3団体に工事発注元であるサブコン団体が加わった「関連4団体協議会」でも設備工事業全体で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探っていくこととしました。

任期満了に伴う役員改選ではほとんどの役員の留任を決め、正副理事長には引き続き斉藤理事長、玉川副理事長、山田副理事長、庄司副理事長が就きました。挨拶に立った斉藤理事長は「関西では大型建設物件が相次いで終了あるいは終盤を迎えたが、これらにかかわった同業者はいずれも厳しい取



挨拶する斉藤理事長

益を余儀なくされた。今後は情報収集に努め、儲かる現場を探していこう。また、関西では同業者の廃業の話題も聞く。しかし、われわれはこの専門業でしか生き残るすべを持たないのが現実だ。後継者を育てながら地道にやっていくほかない」と述べ、「そのためにも組合の各種事業を大いに活用してほしい」と呼びかけました。

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
 - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力するとともに、平成25年度に関東地区で開催される日管連設立20周年祝賀会に出席する
 - (2) 設備関係の団体との懇談会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を随時開催し、情報交換を図る
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部の活動事業を支援する

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行の計画をする
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上を図る

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実

- 施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する
3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図るため長期的視野のもと研究に努める
4. 「登録配管基幹技能者」の確保・育成・活用の推進と「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る
6. 組合員相互間における繁忙情報事業の見直しと工事施工協力の活用方法を研究する
7. 第16回管工機材・設備総合展開催に伴う後援と同展への出展

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会との親睦・交流を図るとともに、平成25年度に関西地区で開催される日管連全国青年部会に参加し、開催運営に支援協力する
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする

組合役員構成

(平成25・26年度、敬称略)

- | | |
|-------|--------------------|
| 理 事 長 | 齊藤 昭一 (株三進) |
| 副理事長 | 玉川 義光 (玉川設備工業(株)) |
| 副理事長 | 山田 誠香 (株寿工業所) |
| 副理事長 | 庄司 真之 (株ツカサ) |
| 理 事 | 加藤 猛 (株テイ・エム・プラント) |
| 理 事 | 和田 吉成 (株和田設備工業) |
| 理 事 | 中野 広造 (中野設備工業(株)) |
| 理 事 | 池成 信夫 (有信成設備工業) |
| 理 事 | 小阪 武司 (小阪設備工業(株)) |
| 理 事 | 立花 忠夫 (株藤尾設備工業所) |
| 監 事 | 岡崎 照雄 (岡崎産業(株)) |

部 会

- | | |
|-----------|-------|
| 総 務 部・部会長 | 庄司 真之 |
| 事 業 部・部会長 | 山田 誠香 |
| 教育情報部・部会長 | 玉川 義光 |

事業主の皆さん
労働保険に入っていますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したもので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については
労働基準監督署へ

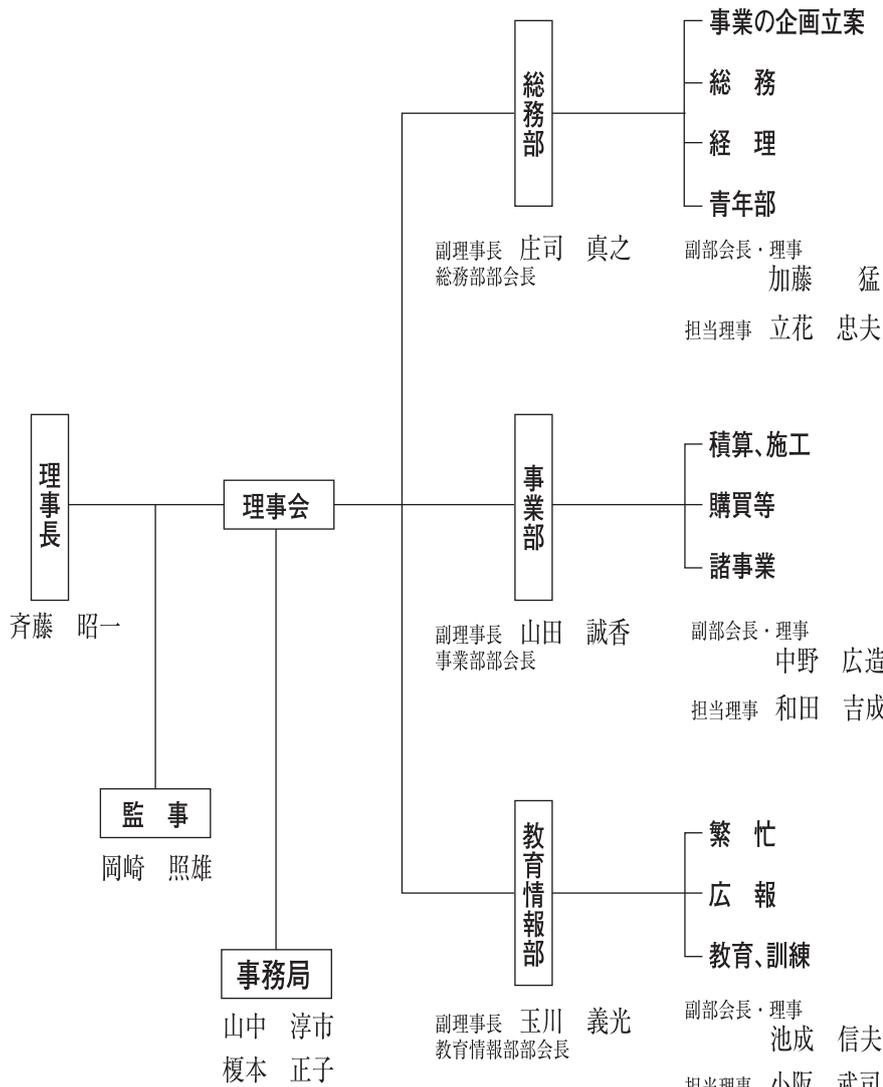
◇雇用保険制度については
ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合



八朔

「はっさく」と聞けば、冬から春にかけて出回るみかんの一種を思い浮かべる人が大半でしょう。果物ははっさくは「八朔柑」と書き、日本原産です。形は夏みかんに似ていますが、夏みかんほど酸っぱくなく、鮮度のよい物は水分が多く、甘酸っぱくて少し苦みを含んだ独特の味が好まれています。

さて、もうひとつの「八朔」。「朔」はついでにの意で、旧暦八月一日（今年は九月五日）のことです。かつては、お世話になった人へ贈り物をする習慣がありました。



この頃、早稲の穂が実るので、農民の間で初穂を恩人などに贈る風習が古くからありました。別に、田の実の節句ともいうことから、この「田の実」を「頼み」にかけ、武家や公家、さらに町屋の間でも、日頃お世話になっている（頼み合っている）人に、その恩を感謝する意味で贈り物をするようになったといえます。

現在の「お中元」と似た風習ですが、「田の実」を「頼み」にかけるなど、昔の人もなかなかしゃれた感覚を持っていたようです。



1級配管技能士めざす

休日返上で延べ15日間受講

組合の教育情報部会（部会長・玉川義光副理事長）が担当している認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講生は1級配管技能士の資格取得をめざして熱心にカリキュラムに取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。講座は、ポリテクセンター兵庫で4月14日にスタート、9月8日までの日曜日、延べ15日間・120時間（25教科）にわたって続けられます。

今年度は28人の講習生が13人の講師から学んでいます。すでにこれまで流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管、製図などの教科講義が行わ



れ、これから施工法の一部、関係法規、安全衛生などの教科が続きます。最終日に全教科の総まとめ（監督・玉川義光教育情報部会長）と修了試験が行われます。

受講者の皆さんは酷暑の中で仕事をこなし、休日返上で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、これからも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

【講師の先生】（50音順、敬称略）

◇大原 明◇鬼武孝一◇梶浦芳夫◇金野義弘◇柴田健治◇澄川史朗◇瀧口佳典◇土居世輝雄◇直江 健◇花澤俊治◇原本昌興◇宮本泰仁◇森 良則

【受講者の皆様】

（社名50音順、敬称略）

- ◇市原設備 = 市原広志
- ◇浦設備工業所 = 橋倉鷹雄
- ◇木島設備工業 = 青野 徹
- ◇(株)洗陽電機 = 菊川 健
- ◇サンキ工事 = 金城致勲
- ◇(株)三協総合設備 = 野村幸正
- ◇塩貝設備 = 具志堅用太
- ◇(株)セントラル医療設備 = 松本昌樹
- ◇玉川設備工業(株) = 秋岡恭平、岩井幸啓、鶴戸健一、長濱圭太
- ◇玉川環境設備 = 杉本龍太郎
- ◇T I 設備 = 伊藤裕介
- ◇翼工業 = 富永充司
- ◇(有)東豊設備 = 山崎大志
- ◇(株)中道設備工業 = 西田直弘
- ◇仁後設備工業 = 土井康裕
- ◇原田工業(株) = 駒田昌久、澤路鳴、中西真司、宮崎竜也
- ◇(株)前村設備 = 中井貴幸、永岡忠之、福田洋人
- ◇正本設備 = 正本一彦
- ◇松浦設備工業 = 柴田岳人
- ◇明西設備 = 浅木森 恵



第33回 3団体懇談会開く

社保未加入問題と市況で意見交換

当組合、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事団体、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体、会長細見義征氏）で構成する「3団体懇談会」は、3月11日午後3時から5時まで当組合事務局近くの三栄ビル会議室で第33回会合を開き、建設業の社会保険未加入者問題への対応、受注単価や工賃など最近の市況について話し合いました。

懇談会にはダクト団体から4人、保温保冷団体から5人、当組合から9人の計18人が出席。開催当番幹事の保温保冷団体・細見義征会長が「社会保険問題や消費増税を控えているが、いずれもすぐに解決の結論が出るという問題ではなく、今後、討論を重ねて解決・克服の糸口を探っていこう」と挨拶したあと、榊英寿副会長の司会で進められました。

社会保険未加入問題については、すでに昨年11月から国やゼネコン、サブコンによる下請事業者への加入指導が始まっています。懇談会の中では、「ゼネコンなど〈川上〉が具体的姿勢を示してい



ないので一次下請の当業界では何にどこから手をつけていいのかわからない」などの意見が大勢を占めました。また、「発注者側に〈発注価格に材料費と工費を分けてほしい〉と要望しても、グロスでいくら——との価格提示がほとんどの現状では福利厚生費として社会保険を上乗せする環境が整っていない」とする意見も多く出されました。これらを総合して、当面、国やゼネコン・サブコンなどの動向を注視し、それに対応して取り組みを考えていくことで意見が一致しました。

一方、受注単価や工賃など市況については、「下請単価は上がったというが、われわれにはまった

く反映されていない」（配管）、「指し値が低いと（受注を）断ったら上がったケースがある。あまりにも低い価格は断るのもひとつの方法か」（配管）、「ただ、低いので断ったら2倍になったこともあるが、もともと原価の半値を提示されていたので、上がったところで利益はない」（保温保冷）、「スリーブ、インサート工事はサービスの的にやっていたが、現在のように収益環境が厳しくなると、もうそれはやめるべきだ」（ダクト）——などの情報・意見が交わされました。

また、「サブコンの感覚では配管工の日当を1万8000円程度とみているようだが、その値段では全然合わない」（配管）、「円安傾向で、今後、材料価格が高騰することが予想されるが、そのためにも施工単価の引き上げに最大の努力をする必要がある」（ダクト、保温保冷）などの意見が出されました。



当組合出席者

関連4団体協議会を開催

「基幹技能者」の活用で意見交換

当組合、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事団体、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体、会長細見義征氏）と大阪空気調和衛生工業協会（大空衛＝サブコン団体、会長大平哲也氏＝当時）で構成する4団体協議会の第12回会合が3月25日に大空衛事務局会議室で開催され、配管、ダクト、保温保冷の3業種の「登録基幹技能者」の活用について意見交換しました。

の中の限定した業種としての〈ダクト工事業〉の創設を希求し、その主任技術者要件に〈登録ダクト基幹技能者〉が認められるように要望していることが報告されました。

次いで、3業種の登録基幹技能者の活用と処遇について意見が交わされました。登録基幹技能者が上級職長として現場の工程管理、施工内容の変更に意見を述べるなどの役割を果たせるか、また、そ

きな流れとはなっていない」など、まだまだ活用と処遇が広がっていない現状が報告されました。

こうした中、登録基幹技能者講習には多額の費用がかかることに加え、まず2013年度末で「登録配管基幹技能者」の最初の更新時期（5年）が来て、その後、ダクト、保温保冷の登録基幹技能者の更新時期が続き、更新にも費用と手間が必要となることなどから、このままでは登録基幹技能者講習



会合では、ダクト団体から「管工事業の一部であるダクト工事の主任技術者について、建築板金（ダクト板金作業）技能士は建設業の板金工事業における主任技術者となることはできるが、ダクト工事の主任技術者には10年の経験なくしてはなれない」という問題点が出されました。

ダクト工事は建設業の板金工事業ではなく、管工事業と位置付けられているため、上部団体・全国ダクト工業団体連合会は管工事

れに見合う処遇をゼネコンなど工事発注者から引き出せるかという点について意見を出し合いました。その結果、「登録基幹技能者といっても現場に常駐はせず、担当工事が終われば他の現場に移動することとなるため、工事監理者、他業種の職長などとの協議の場を確保するのは困難である」、「ゼネコンなどでは登録基幹技能者の中でスーパー職長と認定した人には特別手当（日当500円～3000円）を支給されているが、大

受講者や更新をする人が減っていく恐れもある——という声が出ました。

このように、登録基幹技能者については現場での守備範囲の不明確さや現場の工程会議などへの出席の可否、登録基幹技能者の手当て・処遇費の積算への盛り込み——など大きな問題を抱えています。このため、今後、各団体の全国組織などを通じて国土交通省へ登録基幹技能者の活用と処遇の業界指導を申し入れることとしました。

今年度公共工事基準賃金 配管工で13%引き上げ

国土交通省は今年度の公共工事設計労務単価について、建設労働者の基準賃金を全国単純平均で前年度比15%引き上げた。配管工は13%の上昇となった。

公共工事設計労務単価は公共工事などに従事する建設労働者の基準賃金。国交省、農林水産省が所管する公共工事に従事した労働者に対する賃金支払い実態調査に基づき設定するもので、公共工事の工事積算に適用される。ただ、下請契約での労務単価や雇用契約での労働者への支払い賃金を拘束するものではない。

配管工の労務単価は昨年度、全国単純平均が1万4874円と、過去10年間最低だった11年度（1万5253円）をさらに2.4%下回っていた。今年度は、全国平均で前年度比13%増の1万6757円に引き上げられた。最も高い関東地区は平均16%上昇の1万8444円、中部地区は11%上昇の1万8375円、近畿地区（2府5県）は11%上昇の1万8143円となった。

関連業種であるダクト工の全国単純平均は1万6130円で、前年度（3%下降）から15%上昇し、保温工は1万7273円で、前年度（2%下降）から14%上昇した。

一方、各職種の基幹技能者など資格保有者について、同職種平均額と資格保有者の公差も参考として示された。「登録配管基幹技能者」は配管工全国単純平均単価の

4～8%増であり、「電工」（同職種平均の11～15%増）、「橋梁特殊工」（12～16%増）の基幹技能者に比べてかなり低い。

管工事業者3年連続減 全体では過去最低を更新

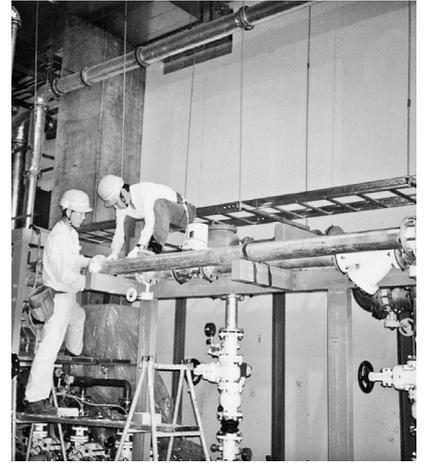
国土交通省がこのほど公表した2012年度末（今年3月末）の建設業許可業者数は前年度末比2.8%減少し、1981年以来30年ぶりに50万を切った10年度末以降の最低を更新した。管工事業は3年連続減少の1.8%減、過去10年間のピークの04年度末から約11%の減少となった

管工事業の許可業者は8万3648で、前年度末（2.0%減）に続き1.8%の減少となり、09年度末に4年連続減から脱却（0.4%の微増）したものの、それ以降3年連続で減少した。管工事業は80年ごろまで大幅に増加し、その後減速、02年度以降は減少基調が鮮明となり、12年度末はピークの04年度末に比べ約11%、1万59業者の減少となっている。

国交省が「新労務単価」 相談ダイヤル開設

国土交通省は、2013年度公共工事労務単価（新労務単価）の浸透をフォローアップするため、相談ダイヤルを開設した。

同省は、建設技能労働者が不足している状況と社会保険加入徹底の観点から全国単純平均で15%引き上げ、適切な賃金水準の確保について建設業団体や公共発注者、



民間発注者に対して文書で要請を行ってきた。これを受けて多くの建設業団体において決議が行われるなど現場の技能労働者に適切な水準の賃金が行き渡るよう、行政や業界で取り組みが広がっている。

今回、技能労働者の適切な賃金水準確保を円滑化するための相談窓口「新労務単価フォローアップ相談ダイヤル」を開設した。新労務単価フォローアップ相談ダイヤルは、0570-004976。

全グループホームに スプリンクラー設置へ

総務省消防庁は、認知症高齢者グループホームにスプリンクラーの設置を原則義務付ける骨子案を「認知症高齢者グループホーム等火災対策検討部会」に示し、大筋で了承された。検討部会での意見を反映した報告書案を作成し、この夏中に開催される次回検討部会に提示する方針。

骨子案ではハード面の対策として、スプリンクラーの設置基準については原則すべての施設に設置することを義務付けるよう改めることを提案している

「大阪管材・設備機器展」に出展

大阪管工機材商業協同組合主催の「第16回管工機材・設備総合展 OSAKA2013」が9月12～14日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪4号館で開催され、当組合

は後援団体として同展をバックアップするとともに、出展して組合の存在を幅広くアピールします。

同展は2年に一度開催され、関西管材業界の一大イベントとして

注目を集めているものです。

今回は176の企業・団体が出展、298小間で白熱したPR合戦が展開されます。

開催時間は午前10時から午後5時(最終日は午後4時)です。皆さん、お誘いあわせの上、ぜひ參觀されますようご案内いたします。

理事会 議事要旨

【25年1月】

- ①平成24年度1級配管技能検定受験対策の実技講習終了報告
- ②組合員からの組合脱退申し出の件
- ③第33回三団体懇談会への当組合からの提案事項検討
- ④新年賀詞交歓会の運営順序の打ち合わせ
- ⑤その他(2月定例理事会の休会について)

【25年3月】

- ①平成25年新年賀詞交歓会の終了報告
- ②平成25年認定職業訓練配管科1級技能士コースの受講申し込み応募状況報告
- ③日管連理事会出席報告
- ④組合員からの組合脱退申し出の件
- ⑤賛助会員からの組合脱退申し出の件
- ⑥平成25年度第17回通常総会開催日程と開催場所など検討
- ⑦平成26年新年賀詞交歓会の開催日時・場所の検討
- ⑧平成25年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討
- ⑨その他(日管連・平成25年度・第4回全国青年部会の関西地区での開催準備計画報告)

【25年4月】

- ①平成24年度後期技能検定試験・1級配管(建築配管作業)受検

結果報告

- ②平成25年度認定職業訓練配管科1級技能士コースの受講申し込み者報告並びにカリキュラム・講師決定と開講について
- ③第33回三団体懇談会出席報告
- ④大空衛主催の第12回四団体協議会出席報告
- ⑤賛助会員からの組合脱退申し出の件
- ⑥第16回管工機材・設備総合展への出展申し込み検討
- ⑦平成25年度1級配管技能検定受験対策実技講習の実施日程と講習会会場の件
- ⑧平成25年度組合行事計画予定表作成の件
- ⑨平成25年度組合事業計画書(案)並びに収支予算書(案)策定の件
- ⑩その他(大阪配管高等職業訓練校の第51期訓練生募集案内)

【25年5月】(1回目)

- ①平成26年新年賀詞交歓会の開催場所変更検討
- ②平成24年度組合事業報告並びに決算報告承認の件
- ③平成25年度第17回通常総会上程議案並びに総会議事運営方法の件
- ④その他(6月定例理事会休会の件、大阪府立北大阪高等職業技術専門校の概要と訓練受講生の募集協力並びに北大阪の視察検討の件)

【25年5月】(2回目)

- ①代表理事(理事長)選任の件(斉藤昭一氏を代表理事に選任)
- ②副理事長選任の件(玉川義光、山田誠香、庄司真之の3氏を副理事長に選任)
- ③各部長及び副部長並びに各部会の担当理事選任の件

【25年7月】

- ①関西地区で開催される日管連・平成25年度第4回全国青年部会開催要領報告並びに関西親組合理事者の懇親会出席依頼について
- ②組合決算関係書類及び役員変更届提出並びに登記事項完了報告
- ③大空衛主催・第5回配管技能コンテスト参加者の当組合から推薦報告
- ④賛助会員からの組合脱退申し出の件
- ⑤平成24年度脱退組合員に対する出資金払い戻しについて
- ⑥平成26年新年賀詞交歓会の開催日時と場所の決定について
- ⑦第16回管工機材・設備総合展への出品展示内容と役員当番表の作成について
- ⑧その他(8月定例理事会の休会・日管連よりの連絡通知⇒国土交通省で作成した『みんなで進める一人親方の保険加入』のパンフレット・技能検定実技講習に使用する採点測定盤ゲージの製作)

設立20周年記念祝賀会挙行

当組合の上部団体・日本配管工事業団体連合会（日管連、会長相馬辰夫氏）の第8回定時総会と設立20周年祝賀会が7月30日に東京都港区のホテル「インターコンチネンタル東京ベイ」で開催されました。

総会では、平成24年度事業・決算報告に続き、平成25年度事業計画を審議決定し、25年度実践スローガンを採択しました。事業計画では、スマート空調衛生システム展（総会翌日から東京ビッグサイトで3日間開催）主催や登録配管技能者講習に関する諸活動（関連委員会への出席、講習開催、更新手続の開始）に注力することとしました。また、社会保険未加入対策などに取り組んでいくことを申し合わせました。



挨拶する相馬会長



議案説明する玉川理事（関西組合）



今年度の実践スローガンとして「磨いた技術 鍛えた心 たゆまぬ努力でものづくり」を採択して総会を終えました。

総会のあと、設立20周年祝賀会となり、相馬会長は、設立から一般社団法人化を経たこれまでの歴史を振り返り、「20周年を機に全国7ブロックの構成団体が新たなスタートを切った」と感慨を述べました。一方、設立当初に270社であった会員数が現在215社に減少していることに触れ、配管工事業に必要な能力を有する技能者が激減していると述べ、人材育成と技能伝承の取り組みの重要性を強調しました。また、適正価格による受注が会員社の健全な経営の継続に

不可欠であるとし、行政や関係諸団体と連携して取り組んでいく意思を示しました。

祝賀会で、来賓の国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室の小野健太課長補佐は、社会資本を支えているのは建設業であり、さらにそれを支えているのは人材であると述べて日管連の20年の歴史に敬意を示すとともに、高齢化と若年層の入職者が少ないことから人材確保が難しくなっている現状を紹介し、これに対する行政施策へのさらなる協力を求めました。

日本空調衛生工事業協会の大内厚会長は、空調衛生工事業、配管工事業とも、品質向上と施



関西組合の出席役員（右から山田・池成・庄司・立花・小阪の各氏）

工の合理化推進による顧客満足の向上が求められていると強調し、業種を超えた連携を深める必要があるとして、日管連への活動に対する

期待が高まっていると述べました。

関東配管工事業協同組合の當木仁理事長が「優秀な技能者の育成を通じて社会に一定の立場を確保

し、今後も一致団結して活動強化していこう」と呼びかけて乾杯の音頭をとり、賑やかに交流して20周年の節目を祝い合いました。

配管工事業の発展を祈念して乾杯



盛大に挙行された20周年祝賀会



会場に掲げられた実践スローガン

国交省の保険未加入対策

9月頃めどに法定福利費内訳明示 「標準見積書」を一斉提出へ

建設業界の社会保険（雇用・健康・厚生年金）未加入対策に取り組んでいる国土交通省は、各建設関連団体が作成する「法定福利費を内訳明示した標準見積書」について、9月頃をめどに下請企業から元請企業への一斉提出を予定しています。このほど全国10カ所地方自治体や各建設業団体関係者を対象に説明会を開催して明らかにしました。

社会保険加入促進にはその原資となる「法定福利費」が発注者か

ら元請、下請を経て労働者まで適正に支払われることが重要となります。このため、同省の指導で各専門工事業団体では法定福利費を内訳明示した「標準見積書」を作成中です。

説明会では、社会保険の未加入対策の全体像や技能労働者への適切な賃金水準の確保に関する取り組みなど最近の建設産業行政に関する重要施策について説明が行われました。説明会のポイントは次のとおりです。

必要な「法定福利費」の確保

○技能労働者の社会保険加入対策を進めていくためには、法定福利費の確保が重要。

○しかし、現在はトン単価や平米単価による見積りが一般的で「法定福利費がどのようになっているのかが下請も元請も把握できていない」のが現状である。

○法定福利費は本来、発注者が負担する工事価格に含まれるべき経費であることから、見積りに当たって従来の総額単価だけでなく、その中に含まれる「法定福利費を内訳として明示することにより必要な金額を確保」する必要がある。

標準見積書の作成

○各専門工事業団体が法定福利費が内訳明示された標準見積書を作成し、これを活用するなどして法定福利費が内訳明示された見積書を提出する運動を業界あげて推進している。

○「見積書を作成して法定福利費を要求していくことが第一歩」として必要。

○建設業者は自社の施工実績な

どに基づいて、法定福利費を算定。

○正確な把握が困難な場合、専門工事業団体ごとに作成した標準見積書を参考に法定福利費を算定。

法定福利費の基本的算出方法

○各業種の実情に応じ、一定の方法により当該工事に係る労務費の総額を算出し、それに法定福利費の保険料率を乗じる。

「法定福利費 = 労務費総額 × 法定保険料率」

例外的な方法

○工事費に含まれる平均的な法定福利費の割合や工事の数量当たりの平均的な法定福利費を予め算出した上で、個別工事ごとの法定福利費を簡便に算出する。

「法定福利費 = 工事費 × 工事費当たりの平均的な法定福利費の割合」

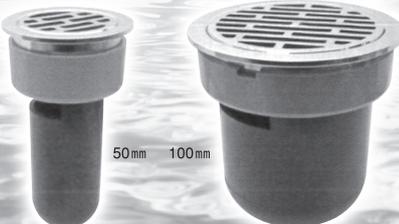
「法定福利費 = 工事数量 × 数量当たりの平均的な法定福利費」



スーパートラップ付目皿

簡単に施工でき封水を確認
トラップ部が取り外し可能、メンテナンスも簡単

D-STD-PU 50・65・75・100mm

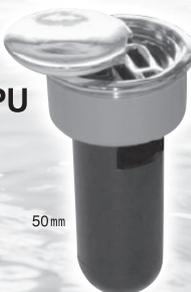


50mm 100mm

ワンタッチ掃兼金具 (スーパートラップ付き)

蓋は⊖ドライバー1本で
ワンタッチ取り外し、
装着は軽く押すだけ

D-3CO-STD-PU
50・65・75・100mm



50mm

総発売元



イクイップメントのサポート商社

株式会社 昭栄

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-3-1
☎(06)6262-1241 FAX(06)6262-5947
本店営業部 〒577-0815 東大阪市金物町6-10
☎(06)6725-9311 FAX(06)6725-9333

東京 ☎(042)487-6811	北関東 ☎(048)458-1234
大阪 ☎(06)6531-9601	金沢 ☎(076)291-9011
中国 ☎(086)246-2611	姫路 ☎(079)284-4101
四国 ☎(087)864-7351	松江 ☎(0852)26-1124
福岡 ☎(092)928-5001	北九州 ☎(093)951-7021
千葉 ☎(043)258-3811	大分 ☎(097)555-9840
山梨 ☎(055)279-5711	鹿児島 ☎(0995)62-3301



印管継手

給水・給湯・冷温水に!!



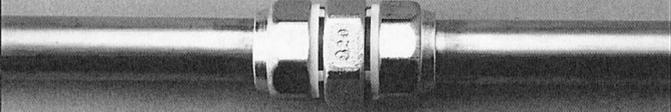
2つのSUS管用継手登場!

ワンタッチ式

SUSDAKE (サスダケ)

新製品!




拡管式メカ継手

ZLOK

(ゼットロック)

- ・印管継手
- ・管端防食管継手 **PQWK**
- ・日立カップリング継手 **オメガシリーズ**
- ・日立密閉型膨張タンクシリーズ
- ・ウォーターハンマ防止器



日立金属株式会社

関西支店
〒541-0041
大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)
TEL: 06-6203-9704 FAX: 06-6202-0730
<http://www.hitachi-metals.co.jp>

